

## 食道アカラシアに対して内視鏡治療を受けた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 食道アカラシアおよびその関連疾患の発症や増悪に関するサイトカインの検討

### 研究の目的

本研究では食道アカラシアに対する内視鏡下筋層切開術（POEM）を受けた患者さんを対象とします。以前に行われた研究の際に同意を得て採取した血液検査検体を用いて、アカラシアの発症や増悪の要因を明らかにすることを目的とします。

**研究実施期間：** 実施許可日 ～ 2028年 3月 31日

**対象となる方：** 2017年4月から2025年12月31日までの期間に弘前大学医学部附属病院で食道アカラシアに対する内視鏡治療を受けた患者さんの中で、「内視鏡手術の周術期における好中球機能の変化およびストレスについての検討」の同意を得て血液検査を行った患者さん。

### 利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

2017年4月から2025年12月までに当科で食道アカラシアおよび類縁疾患に対する内視鏡治療を受けた患者さんの情報を後ろ向きにカルテから得ます。

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、基礎疾患、内服薬、内視鏡診断結果、食道造影検査結果、食道内圧検査結果、血液検査結果について、標記研究課題実施のために利用します。

これまでの先行研究の際に、同意を得た上で採取した血液を用いてサイトカイン（炎症の誘発や抑制に関するタンパク質）の発現を調べ、食道アカラシアのグループとアカラシア以外の患者さんのグループ間の比較を行います。

なお、氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、個人を特定できない形式にして上記データを使用します。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

**本件連絡先**

附属病院消化器内科、血液内科、免疫内科 立田哲也  
連絡先電話番号 0172-33-5111